

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	マーコウ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：マーコウ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：パラドックス・トリロジー

フレアーの幅 インチ

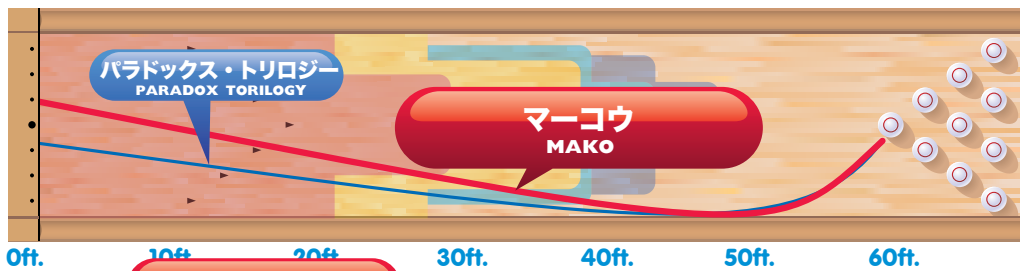
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

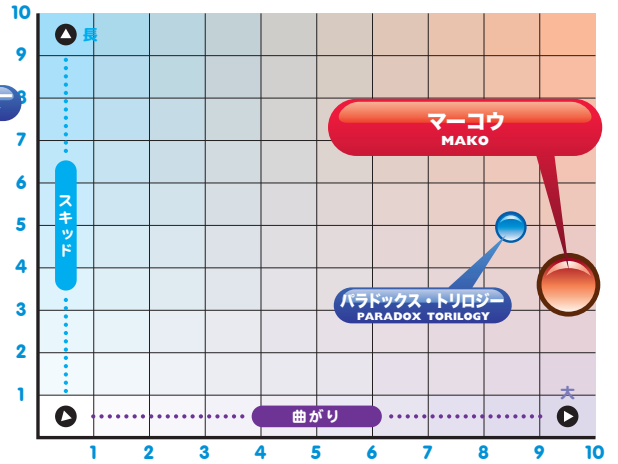
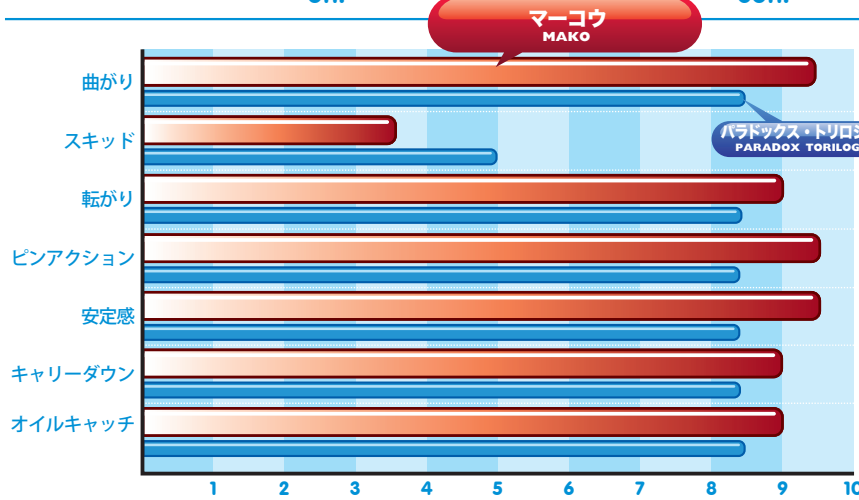
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2015年8月、TRACK社PARADOXは業界に新たな風をもたらしました。”Super Soft Flexible”という今までのCover Stockよりも粒子の結合を広げてFlexible(融通のきく柔らかさ)で柔軟性のある凹凸を作りだしたCover Stock。そしてBig Hookを演出したi-Core2.0のDUAL DENSITYはI-Coreよりもフレアポテンシャルを20%向上させた画期的なCoreTechnologyだったと言えます。今回紹介するMAKOは、画期的と言われたPARADOXを遥かにしのぐTechnologyで今までにTRACK社からリリースされたどのCover Stockよりも強く、ヘビーオイルで”持続する強いまがり”でボウラーにニーズにお応えします。Cover Stockのさることながら、新開発のCoreTechnologyは”MAKO”。業界初の4piece Core designを採用して、最も比重の調整を精密に行えるようになりました。それはCover Stockの強さに合せRGと△RGをコントロールすることが可能で、今回は今までより強いCover Stockで包むことでヘビーオイル用のモンスターマシンとして仕上げることができました。

テストングで様々な角度から検証しましたが、今回のQR-10 Solid CoverStockは今までのTRACK社で最もオイルを強く掴みます。投球ラインを描くとスキッドは短めでMid手前からHookに入り始めようとしているのが見て取れます。

そのまがりのイメージのまま大きな弧を描きながらピンヒットまで駆け抜けますが、これだけ大きく曲がりながらも減速しないで曲がりきるボールは私の長いテスター生活でもほとんど見かけることはできません。それどころかオイルを多めに使うとフリップ状にキレルイメージも出るのがMAKO潜在能力の高さだと思います。Skid,Hook,Rollから抜群のコントロール性能で、ピンアクションまでもTRACK社最高峰となれば、このボールを選ばない理由はみつかりません。

特記事項

実際に投球してみれば、このボールの潜在能力の高さは感じていただけるはず。オイリー系のボールで信頼性の高いボールをお探しの方はこのボールはまさに別格の出来栄と言えます。